

英国セラフィールド社との情報交換協定の延長について

2025 年 9 月 12 日

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

当社は、英国で原子炉や廃棄物関連施設の廃止措置にあたっているセラフィールド社※と、廃止措置に関する運営および技術面の知見、経験に係る情報交換協定を 2014 年 9 月から締結しております。本協定の期間は 5 年を目安としており、随時協定内容の見直しを行いながら、約 5 年ごとに協定を延長してきました。この度、2025 年 4 月に 2 回目の協定延長に合意したことから、9 月 11 日（現地時間）にセラフィールドサイト（英国カンブリア州シースケール）において延長合意の締結式を行いましたので、お知らせいたします。

※セラフィールド社…2005 年に設立された英国原子力廃止措置機関 (Nuclear Decommissioning Authority:NDA) の傘下で、同社が保有するウィンズケール原子炉ならびにレガシー施設と呼ばれる放射能漏えいリスクの高い設備の廃止措置及びリスク軽減対策に取り組んでいる。

■協定概要

両社が共通して取り組んでいる課題を解決するため、活発で開かれた情報交換を通じて、より安全且つ着実に廃止措置を進めていくことを目的に「サイト運営管理」「環境モニタリング」「放射線防護」「プロジェクトマネジメント」「設計エンジニアリング」「ステークホルダーコミュニケーション」「調達戦略」を情報交換対象分野に設定している。

2018 年度からは当社社員をセラフィールド社へ派遣しており、これらの交流を通じて、福島第一原子力発電所の廃炉作業に向けて先進的かつ有用な知見を提供いただいている。

別紙

- ・英国セラフィールド社との情報交換協定の締結式について

以 上

<別紙>

英国セラフィールド社との情報交換協定の締結式について

- 開催日時：2025 年 9 月 11 日 15 時～15 時 30 分（現地時間）
- 開催場所：セラフィールドサイト（英国カンブリア州シースケール）
- 出席者：東京電力 HD 小野明 福島第一廃炉推進カンパニープレジデント 他 6 名
セラフィールド社 Euan Hutton（ユアン・ハットン）CEO 他 2 名

計 10 名

出席者コメント

<小野明 福島第一廃炉推進カンパニープレジデント>

2014 年に協力協定を締結して以降、セラフィールド社と約 11 年間にわたり廃炉分野において良好な協力関係を続けてこられたことを大変喜ばしく思います。

これまでの協力は、当社の廃炉作業を前進させる大きな力となり、国際的な経験と技術を取り込むことで、より確実で安全な廃炉プロセスの構築に資する成果を上げております。また、日本の取り組みや成果を共有することで、互いに学び合う関係を築いてまいりました。加えて、協力を通じて培われる技術や人材の交流は、将来の廃炉産業を担う人材基盤の強化につながるとともに、得られた知見や技術を地域社会へ還元することで、安全・安心の確保と地域の持続的な発展にも寄与してまいります。

今回の延長合意は、こうした互惠関係をさらに深化させ、発展させる新たな出発点です。当社は今後とも、セラフィールド社との協働を通じ、国際社会に開かれた取り組みを一層推進するとともに、福島第一の廃炉を確実に進めてまいります。

<Euan Hutton CEO>

セラフィールドのような廃炉の課題を抱える場所は、世界でも非常に限られています。

私たちは東京電力と協力することで、新しい技術やスキルを活用することができます。これまでに互いのサイトへの訪問やワークショップを行い、東京電力からの出向者もセラフィールドに迎えてきました。

今回、小野さんをセラフィールドにお招きできたことを嬉しく思います。1 年半前に福島第一原子力発電所を訪問した際に受けた温かいもてなしに、応えることができました。

福島での廃炉の進展の話からは非常に刺激を受けます。私たちには共通する課題が多くあります。

この訪問は、私たちの業界における国際的な協力の強さと重要性を示しています。



<写真説明>

左：Euan Hutton CEO

右：小野明 福島第一廃炉推進カンパニープレジデント